

岡山大学
まちなかキャンパス

西川緑道活性化 プロジェクト

岡山駅と表町商店街の中間に位置する西川緑道公園（全長2.4km）。1960年代以降、都心の潤い空間として、まちづくりへの挑戦がつづいています。この貴重な財産を活用して、岡山市をさらに魅力と賑いのある空間にしていくにはどうしたらよいか、市民、企業、行政、NPOの人たちと一緒に考えてみませんか。

対象

大学生、行政、企業、NPOなどのまちづくり関係者

日時

平成24年6月以降随時

場所

岡山大学まちなかキャンパス 城下ステーション
岡山市中心市街地

担当

地域総合研究センター 千田 俊樹
地域総合研究センター 岩淵 泰
社会文化科学研究科 教授 中村 良平



【活動内容(予定)】

- ①行政、NPOなどのまちづくり関係者との対話(学習)
- ②行政、NPOなどが企画する各種イベント(まちなか探検隊、ハレノミーノなど)への参加
- ③岡山市の西川緑道公園界隈まちづくり事業の検証調査の受託 など

【達成目標】

西川緑道を素材にまちづくりのあり方を学ぶ。
政策効果に関する測定手法を学ぶ。
また、これらを通して岡山市への誇りと愛着を醸成する。

■お問い合わせ■

岡山大学
地域総合研究センター 担当：千田・岩淵
TEL 086-251-8491
Mail info-agora@cc.okayama-u.ac.jp

魅力発信！ カルチャーゾーン出石町



岡山城・後楽園一带は、カルチャーゾーンと呼ばれ、若手企業家や芸術家が集まる“まちづくり実験室”となっています。例えば、『出石芸術百科祭』や古民家の保全など。

しかし、カルチャーゾーンの課題として、若者の視点から、その歴史と文化が魅力的なものであるのか、また、そこには、新しいコンセプトを投げかけているかなど課題もあります。

出石町の歴史と文化のまちづくりでは、大学生が中心となり、若手企業家や芸術家、まちづくり関係者との対話を通じて、出石町の歴史と文化を発掘し、岡山のまちづくりの新機軸を建てることを目的としています。

場 所	岡山大学まちなかキャンパス 城下ステーション
対象者	大学生、出石エリアの地域の人、若手企業家、 岡山県・市・経済界・NPOなどのまちづくり関係者
担 当	地域総合研究センター 岩淵 泰

成 果

学生が地域に触れ、学びを実現する空間の中で、コミュニケーションやプレゼン能力を高め、学外や世代を超えた交流を通じて、人材育成を図る。

今後の活動

出石町のまちあるきとワークショップ
カフェ談義の開催
まちづくり提言作成
国吉康雄と岡山の暮らし



■お問い合わせ■

岡山大学
地域総合研究センター 担当：岩淵
TEL 086-251-8491
Mail info-agora@cc.okayama-u.ac.jp

GREEN DAY プロジェクト

ー 緑・命・医のコミュニティー



高梁川上流・下流の4市が協力して流域圏の環境を保全し、文化と産業を育てています。これは50年以上も前に倉敷市出身の実業家大原総一郎氏によって起草された「高梁川流域連盟趣意書」に連なる考え方です。これに共鳴する市民、企業、行政、NPOの人たちと、これからの備中地域の将来像とそのために必要な実践について考えましょう。

【活動内容(予定)】

- ①まちづくり関係者による講演
 - ②備中未来会議(6月～9月)への参加
 - ③GREEN DAYS COLLEGEへの参加
(12月の最終回は岡山大学と共催)
- green day : <http://www.green-day.jp>

【成果】

まちの人とともに高梁川流域の歴史と文化、まちづくりの重要性を学ぶことができます。
また、他者とのコミュニケーション能力の向上、組織活動の基本(リーダーシップのあり方、ネットワークづくりなど)を学ぶことができます。

対象

学生、行政、企業、NPOなどのまちづくり関係者

日時

平成24年6月以降随時

場所

岡山大学まちなかキャンパス 城下ステーション
倉敷物語館、水島スクエア、高梁市、新見市、総社市

担当

地域総合研究センター 千田 俊樹
地域総合研究センター 岩淵 泰

■お問い合わせ■

岡山大学
地域総合研究センター 担当：千田・岩淵
TEL 086-251-8491
Mail info-agora@cc.okayama-u.ac.jp



■お問い合わせ■

岡山大学 地域総合研究センター 担当：三村
TEL 086-251-8491
Mail info-agora@cc.okayama-u.ac.jp

地域医療・ケアを通じた総合的なまちづくり

中山間地域の将来像を考える

岡山大学
まちなかキャンパス

地域医療、地域ケアを通じたまちづくりをテーマに、中山間地域が抱える医療課題をはじめ、森林や河川など自然環境や里山の保全、農業後継者、教育・雇用問題、地域交通など岡大11学部それぞれの専門性を結集し、地域社会や他大学などと協働して総合的な知見から中山間地域の課題解決に向けて取り組む。



場 所

岡山大学まちなかキャンパス城下ステーション
岡山大学鹿田キャンパス
岡山県内の中山間地域の医療・ケアの現場など

担 当

岡山大学医学部 教授 浜田 淳
岡山大学地域総合研究センター 三村 聡

対象者

大学生、大学院生、医師、地域医療・ケア関係者のみなさん
岡山県・自治体・経済界・福祉NPOなどのまちづくり関係者



達成目標

学生はまちづくりから、中山間地域の持つ素晴らしさや解決すべき課題を発見する。
また、地域の医療・ケア関係者や自治体・NPOなどとワークショップを行う。
地域コミュニティや自然環境の持続可能性についてアイデア出し、成果発表する。
その中で、コミュニケーションやプレゼン能力を高め、学外や世代を超えた交流を通じて人材育成を図る。

合 宿

平成24年度「多職種連携と地域包括ケアのワークショップ（1泊2日）」を開催

■過去の実績

平成22年度：真庭市の湯原温泉病院及び湯原温泉

平成23年度：新見市哲西町及び神郷温泉。

岡大、新見公立大など4つの大学、学校の教官と学生、地元の方々など約80名が参加。

今後の活動

地域医療、地域ケア関係者との協働体制の確立

中山間地域のまちあるきとワークショップ

まちなかキャンパスや医学部、さらに現地での対話集会の開催

地域医療・ケア、自然環境、行政、農業、経済、歴史・文化、観光、雇用、教育、交通など多面的な考察を踏まえた、まちづくり提案書の作成



まちなかスポーツ・カフェ はじめてのファジアーノ岡山

岡山大学
まちなかキャンパス

プロ・サッカーのゲームを楽しく観戦するためのヒントを学び、参加者が感動を共有する体験と、わが街のプロ・スポーツクラブを応援する価値を知る。

元ファジアーノ岡山総監督の山下立次氏による「サッカー観戦の楽しみ方」「今日のホームゲームの見どころ」に関するオリエンテーションを受講、その後、参加者全員でスタジアムへ向かい、観戦する。

場 所 奉還町商店街・りぶら
ゲスト 山下立次氏（元ファジアーノ岡山総監督・就実大学教授）
対象者 サッカー観戦未経験の方およびその同伴者
受講料 チケット代1,300円＋ケータリング代
定 員 30名
申 込 後日決定



日 時（候補） （キックオフ3時間前から開催：正式決定は後日連絡）

5月20日（日）13:00, 6月2日（日）13:00, 6月13日（日）16:00, 6月24日（日）15:00

7月8日（日）15:00, 7月15日（日）16:00, 7月29日（日）16:00, 8月5日（日）16:00

8月22日（水）16:00, 8月26日（日）16:00, 9月17日（祝月）未定

スポーツ哲学カフェ

スポーツ哲学・倫理学上のトピックについて、関根正美氏のオリエンテーションを受け、参加者とともに討議しながら考えていく。特にオリンピック期間中においては、スポーツの競技規則・ドーピング問題等をめぐるトピックについて具体的なニュース・事件を挙げながら考えていく。

場 所 出石町周辺のカフェ・居酒屋等
ゲスト 関根正美氏（岡山大学大学院教育学研究科教授・スポーツ哲学・倫理学）
対象者 スポーツを深く考えたい岡山市民
受講料 検討中
定 員 討議可能な人数（20名程度・会場のサイズによる）
申 込 後日決定
日 時 5月, 6月, ロンドンオリンピック（7月27日～8月12日）に合わせて、数回開催

■お問い合わせ■

岡山大学 地域総合研究センター 担当：岩淵
TEL 086-251-8491
Mail info-agora@cc.okayama-u.ac.jp

「岡山まちの夢」学生アイデアコンテスト

～岡山のまちの将来像を考える～

岡山の街をもっと楽しくしたい！
都心や商店街の活性化策や地域の魅力を再発見・活用するアイデアを募集します。
まずはバスツアーに参加しよう。
バスツアーの参加だけでも可能。



- ①3つのコースから興味あるバスツアーへ参加
商店街の理事長さんなど関係者からまちづくりの現状を聞く。
(参加費無料・昼食付)

詳しくは
専用チラシで！

【岡山まち歩きバスツアー】

- Aコース5月26日（土）笠岡市、倉敷市、岡山市（奉還町商店街）
Bコース6月2日（土）玉野（宇野駅周辺）、日生町、伊部駅前通り、岡山市表町
Cコース6月9日（土）アルネ津山、高梁市栄町商店街、岡山市駅前通り

- ②後日、岡山市内で開催されるワークショップに参加
③まちづくりアイデアコンテストに参加・応募



集合場所
岡山駅西口集合

対象者
大学生（ゼミ、クラブ、サークル単位での申し込み歓迎）

達成目標
参加者は地域に触れるなかで、その魅力や解決すべき課題を発見する。また、ゼミやクラブ、サークル、有志でワークショップを体験することから、岡山を夢のまちにする企画やアイデアを作成してコンテストに参加。成果発表をする。その中で、コミュニケーションやプレゼン能力を高め、学外や世代を超えた交流を通じてまちづくりを学ぶ。

賞金
最優秀賞には10万円相当の副賞が予定。
コンテスト参加者には岡山県中小企業団体中央会ならびに岡山県から認定証が授与される。

- 募集テーマ**
- ・ 商店街などの空き店舗活用アイデア
 - ・ 地域に根差したイベント・企画などの賑わい創出アイデア
 - ・ デザインやアートを活用した街の活性化アイデア
 - ・ 子供・高齢者・障害者などにやさしい街づくりアイデア
 - ・ まちの活性化の起爆剤になるような新商品開発・新サービスのアイデア
 - ・ 街を元気にする人づくりのアイデア
 - ・ その他

■お問い合わせ■

岡山大学 地域総合研究センター 担当：三村
TEL 086-251-8491
Mail info-agora@cc.okayama-u.ac.jp

「第3次おかやま夢づくりプラン」

岡山県のまちづくり構想を読み解く

政策立案者との対話から地方自治、公共政策、まちづくりを肌で学びませんか！

場所

岡山大学まちなかキャンパス 城下ステーション

講師

岡山県総合政策局(テーマごとに実施の政策立案担当者が講師で登場)

話題提供：地域総合研究センター(大学院地域公共政策コース教授) 三村 聡

対象

岡山大学の学生(定員15名)

■内容

第3次おかやま夢づくりプラン(岡山県の総合計画)が平成24年3月に発表されました。その内容は県政の基本目標、将来像、行動計画(中期5か年計画)、プランの進め方などから構成されています。政策立案者を講師に招き、県の置かれた現在の状況や県勢データなどを使いながら、夢づくりプランのねらい、県が果たすべき役割、市民への期待、実際の推進手法や行動計画などをテーマごとに解説していただきます。その後、対話の時間を十分に設け、岡山県を「持続的に発展し、安心して暮らせる岡山」にするために何が必要かを話し合います。

■目標

参加者は、3名一組でテーマの中から一つの題材を選び、グループワークや、夢づくり実現のために求められること、実行計画やアイデア、活動計画などを作成して発表します。
県が考える“まちづくり”計画の吟味を通じて、考える力、人の意見に耳を傾ける力、企画を練り自らの意見を発表する力、チームワークを身に着け、地方自治、公共政策、まちづくりに関する実践的な学びを経験することができます。

スケジュール

平成24年6月下旬開始予定(日時は決定次第連絡します)

全6回・1回あたり時間120分(講義45分・話題提供15分・対話50分)

第1回～第4回 県政策担当者からの講義と対話(お茶・お菓子付き)※内容は変更することがあります。

第1回テーマ 第3次おかやま夢づくりプランの概要、「安全・安心」

(1)プランの性格、特徴について(政策推進課)

(2)「県民の命を守る防災・減災プログラム」の具体的取組例(講師：危機管理課)

第2回テーマ 「人材育成」

(1)「学校・家庭・地域の連携による教育推進プログラム」の具体的取組例(講師：教育委員会)

(2)「支え合いの心あふれる社会実現プログラム」の具体的取組例(講師：教育委員会)

第3回テーマ 「中山間」

(1)「元気！輝く中山間地域活性化プロジェクト」の具体的取組例

(6次産業化、医療、ソーシャルビジネスなど)(講師：中山間・地域振興課 等)

第4回テーマ 「情報発信」、「地方分権」

(1)「胸を張ってPR！岡山まるごと情報発信プロジェクト」の具体的取組例(講師：政策推進課)

(2)「中四国州構想推進プロジェクト」の具体的取組例(講師：地方分権推進課)

第5回 ワークショップ

第6回 岡山県庁でプレゼンテーション会

■お問い合わせ■

岡山大学 地域総合研究センター 担当：三村

TEL 086-251-8491

Mail info-agora@cc.okayama-u.ac.jp